

- プラン名：
SPACEBLOCK®（スペースブロック）による
IoT・AI・データ活用型 探究実践プラン
- 企業名：
株式会社 A V A D
- このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1. 情報Ⅱ等の教科・科目の開設等

2. デジタル環境の整備と教育内容の充実

3. 理数系科目の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

5. 文理横断的な新しい普通科の設置

6. 特別支援学校の学びの充実

● 概要

情報Ⅱ (3) 情報とデータサイエンス
情報Ⅱ (4) 情報システムとプログラミング
情報Ⅱ (5) 情報と情報技術を活用した 問題発見・解決の探究
情報Ⅰ / 総合的な探究/部活動/その他

体験から始まる データ活用型の探究

<対象>

SPACEBLOCK® (スペースブロック) は、IoT・AI・データ活用を軸とした探究的・実践的な学びを実現する国産・特許取得済みのプログラミング教材です。センサを用いたデータ取得から可視化・分析までを一貫して行い、情報Ⅰ・情報Ⅱおよび総合的な探究の時間に対応した探究学習を支援します。

<期待される効果>

- 実物を動かしながら、デジタル技術への理解を深められる
- IoT・AIを活用したデータ取得・分析を体験できる
- デジタル技術を社会に活かす視点を養う



●ポイント

特長① 初心者でも安心、簡単導入

- インストール不要。ブラウザから利用可能
- AIチャットによる学習サポート
- プログラミングドリルやタイピングなどの自己学習
- 学習プランや課題機能などの学習補助機能

特長② IoTとデータ分析

- 「創造力」を養う豊富なパーツが使えるローコードIoT
- 大阪府市が提供している公共・民間データ700種類以上が利用可能
- 国産・特許取得済みプログラミング・クラウドプラットフォーム

特長③ 専門人材、伴走サポート

- DXハイスクール事業に対応した、外部専門人材による授業実施
- 学校の要望やテーマに応じて、特別授業から教員研修、授業設計から実施・振り返りまでを支える伴走型サポートにも対応



● 参考価格

(例) 生徒40名+教員1名 × 1クラスの場合 ※学校様でお持ちのPC、タブレットを活用

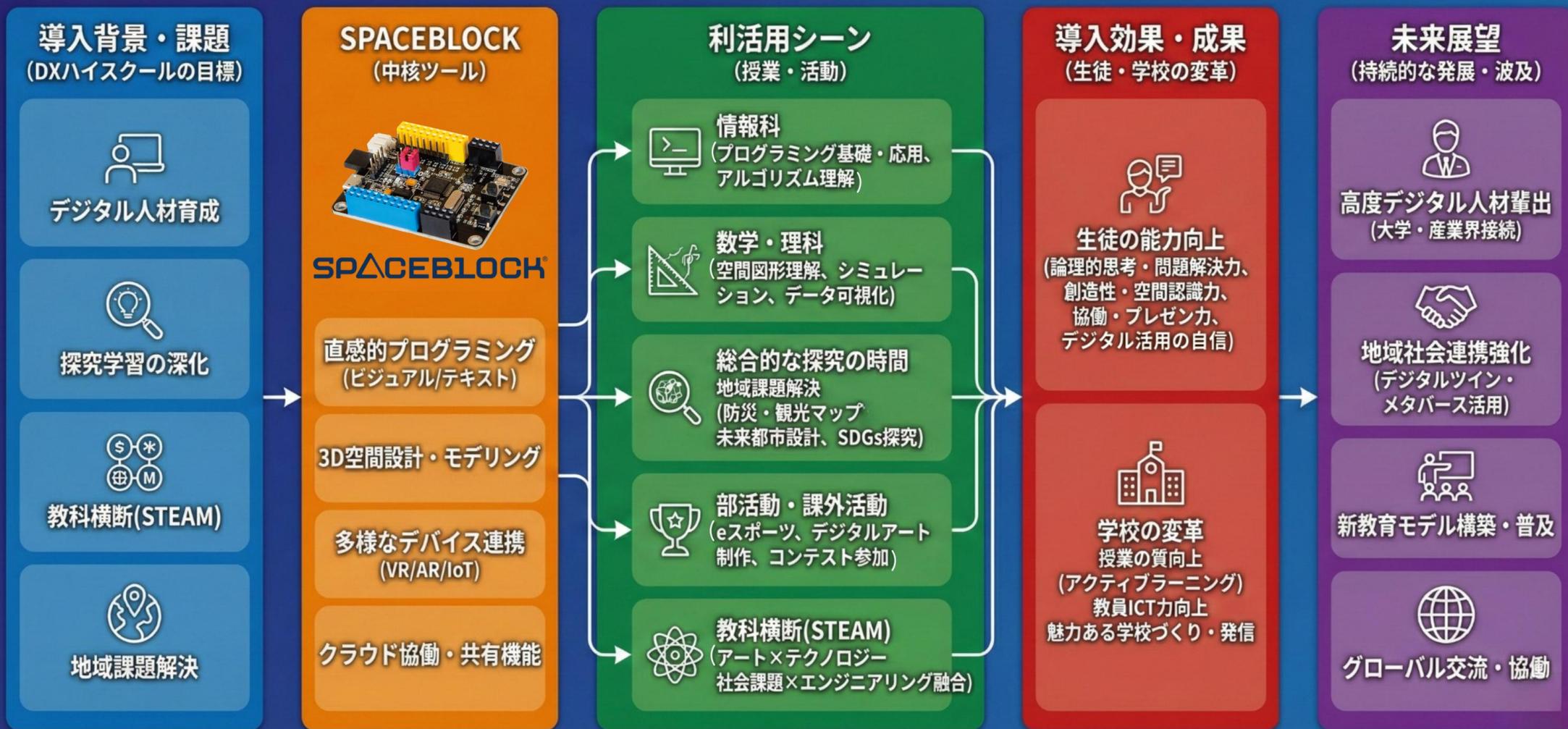
項目	内訳	小計 (税込)
IoT・AI 探究実践キット	<ul style="list-style-type: none"> ● 小型コンピュータ: SPACEBLOCK® (スペースブロック) × 41台 ● モジュール・センサ・パーツ23種類 × 21セット (8x8 RGB LED、圧電スピーカー、180°マイクロサーボ、360°連続回転サーボ、ジャイロセンサ、マイクセンサ、超音波距離センサ、赤外線モーションセンサ、赤外線回避センサ、ライントラッキングセンサ、タッチパッド、明るさセンサ、温湿度センサ、水位センサ、土壌水分センサ、0.96インチOLEDディスプレイ、二酸化炭素センサ、カラーセンサ、5Vリレー、BLEモジュール、スペースボール、エンジニアボックス、ジャンパーワイヤセット) ● クラウドアカウント(1年度分、4月～翌年3月末) × 41アカウント <p>※ モジュール・センサー・パーツの種類や個数は変更可能 ※ iPadOS、iOSにも対応 (無料の専用アプリとBluetoothで接続) ※ 開発用のパソコンやタブレットをインターネットに接続することによりクラウド開発環境の利用が可能 ※ 次年度以降、クラウドアカウントを更新しない場合も、一部の機能制限付きで無償にて継続利用が可能</p>	97万円
IoT・AI 探究実践サポートパック	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入サポート ● 教員研修および教員サポート ● 授業実施および授業サポート ● お問い合わせ (メール、電話等) <p>※ 学校の特色に合わせた授業・授業計画・サポートが可能 ※ 農業高校、商業高校、工業高校等、専門分野に応じた授業・授業計画・サポートも可能 ※ オンライン・訪問での研修及び授業、サポートは最大10コマ (1コマ最大1時間) ※ メールでのサポートは制限なし ※ 訪問の場合は、旅費交通費を別途実費でご負担か、旅費交通費に応じたコマ数を消費</p>	33万円
		合計130万円

【留意事項】

- ・ 参考価格につき、詳しくはお問い合わせください。条件に合わせお見積りさせていただきます。
(例えば3人1グループでの利用や部活動、課外活動でのご利用の場合、30~50万円からのご案内も可能です。)
- ・ 体験授業のご案内も可能ですのでお気軽にご相談ください。
- ・ ご提供内容は一例であり、内容が一部変更になる可能性がございます。

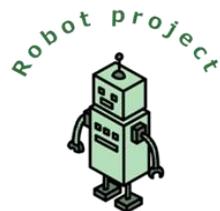
DXハイスクールにおけるSPACEBLOCK利活用相関図：導入から未来へのロードマップ

～「つくる」学びが、生徒の未来と地域を変える～



●グローバルな活動例

スペースブロックは英語モードにも対応しているので、グローバルな取り組みにも利用可能です。



11 住み続けられる
まちづくりを

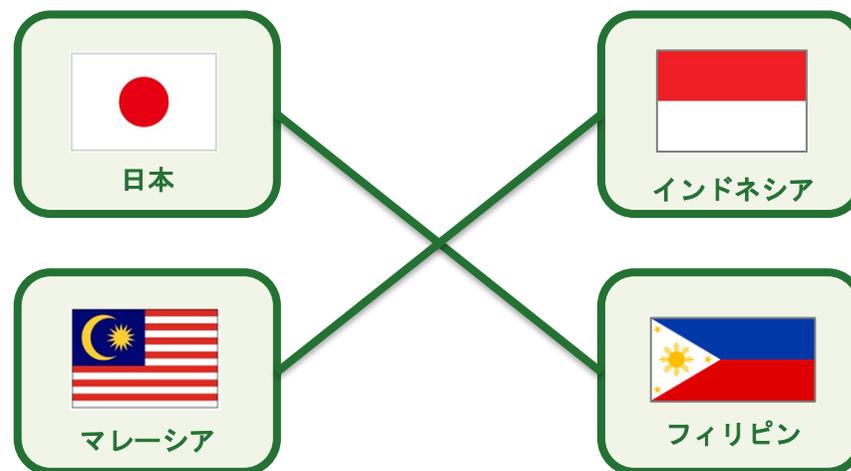


“ともにつくる”よりよい未来

—国際連携で挑む社会課題を解決するロボット開発—

国の輪を広げてSDGsなどの社会課題を解決するためのロボット開発を行う

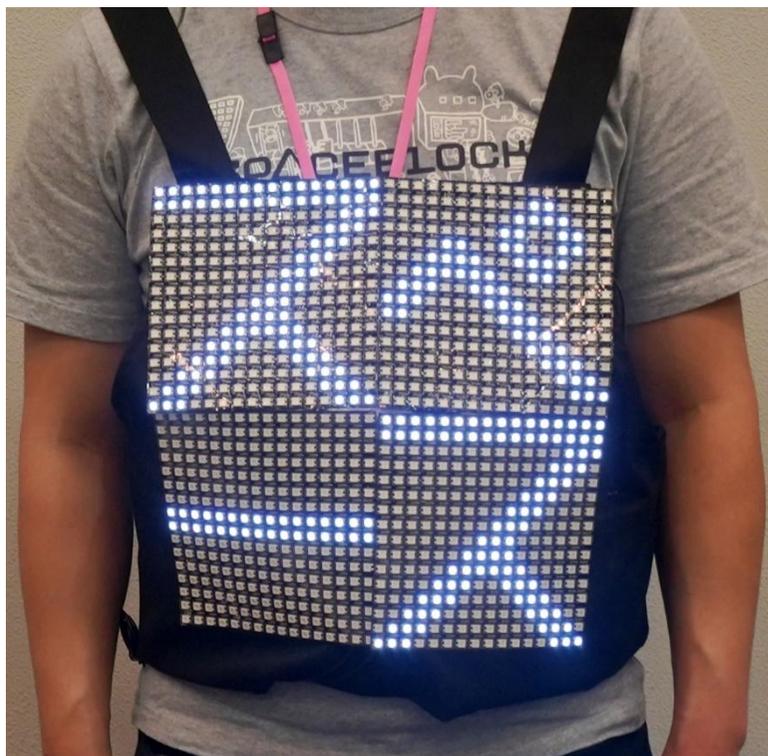
国際プロジェクト『Think and Innovate』として“Smart* (City + Robot)”をテーマにSDGs目標11「住み続けられる街づくりを」都市の利便性や社会的課題の改善に焦点を当て、それに関連するロボットをSPACEBLOCKを用いて製作する。



—一人や一国では地球の問題を解決できない→協力することが重要

● 発展的な利用例

ウェアラブルデバイスの作成や、クラウドを利用した通信プログラムなども作成可能です。



デジタル人間広告



オンラインゲームを作成し世界と対戦

ご興味がありましたら、以下からお問合せください。

- サービス名 : SPACEBLOCK® (スペースブロック)
- 企業名 : 株式会社A V A D
- 電話 : 050-3181-2592 (平日11:00-17:00) ※DXハイスクール導入サポート専用窓口です。
- メール : support@spaceblock.jp
- ホームページ : <https://spaceblock.jp/>
- お問い合わせ先 : <https://spaceblock.jp/contact>